

中東ペトロテック2014 (バーレーン) 展示会に出展

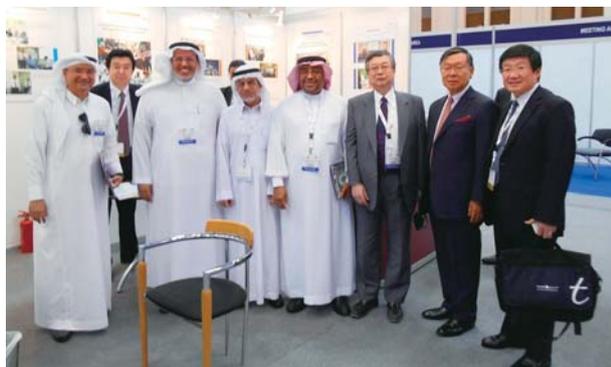
平成 26 年 5 月 18 日から 21 日の 4 日間、第 9 回ペトロテック (The 9th Middle East Refining and Petrochemicals Conference & Exhibition 2014) がバーレーンの国際展示会場において開催されました。

1. 概要

ペトロテックは、石油精製と石油化学における技術の発展と交流を目的として、2 年に一度バーレーンで開催される大規模な国際会議です。中東諸国の国営石油会社・石油化学会社 (サウジアラムコ, BAPCO, ADNOC, QP, KPC 等) および国際企業の石油・石油化学会社等 (Axens, Haneywell UOP 等) が組織委員会やスポンサーとなっています。今回は、“Downstream Value Chain Integration Opportunities” のテーマで開催されました。18 日に行われた全体会議の席ではバーレーンのシェーク アハメッド ベン モハメッド アル・ハリファ NOGA 議長 (H. E. Shaikh Ahmed bin Mohammed Al Khalifa, Chairman, National Oil & Gas Authority (NOGA)) とサウジアラビアのオマール・バズハイール サウジアラムコ石油精製本部長 (Mr. Omar Bazuhair, Executive Director, Refining & NGL Fractionation, Saudi Aramco) の開会挨拶があり、多数のセッションやワークショップの開催と共に、展示会には 80 社以上が出展しました。JCCP では毎回ブースを出展しており、今回の 6 回目となる出展には総務部企画・広報グループの辻村、岩瀬が参加しました。

2. 出展の目的

ブース出展参加を通して、中東産油国の石油関係者をはじめとする会議や展示会参加者に対し JCCP の事業紹介を行うことと共に、これまでの 30 年以上にわたる産油国協力の実績を紹介できるこの機会を利用して、多くの過去の研修生や JCCP 事業に関わりのある要人に再会し様々な情報収集を行うことを目的としています。



在バーレーン王国日本大使館角特命全権大使とサウジアラムコの方々 (リヤド製油所スパイエ所長他)

3. 展示会

今回で 6 回目の出展のため、認知度も高まったことや事前で開催国のバーレーンや近隣諸国に案内メールを配信したこともあり、多くの JCCP で研修を受けた卒業生がブースを訪問してくださいました。18m² と狭いブースではありましたが、常に多くの研修生をお迎えし、さながら同窓会の様相を醸し出すことができました。

また JCCP 事業の 30 周年を記念して作成された過去 30 年分の卒業生の集合写真と名前が掲載されている卒業生アルバムはとて大好評でした。卒業生が当時を回顧し、思い出に浸ることはもちろんのこと、研修に参加をされていない方々も同僚や上司の若かりし頃の写真をめくりながら、研修のみならず日本への興味を持っていただけたようです。

ブースでは事業説明のみならず、JCCP 事業や研修生のインタビューなどをアラビア語と英語でモニターから連続して流したり、世界遺産の富士山と桜をあしらった JCCP ロゴ入り宣伝うちわを配り日本の素晴らしさも紹介しました。

4. まとめ

ブースには総勢 200 名を超える訪問者を迎え、盛況に終えることができました。

今やシニア、マネージメントクラスとなった卒業生の中には親子二世にわたりコースを受講した方もおり、JCCP と産油国がこれまで積み重ねてきた信頼関係を実感することができました。

(総務部 岩瀬 美佐子)



展示会場

(The Bahrain International Exhibition Center)



JCCP ブース